

経営比較分析表（令和2年度決算）

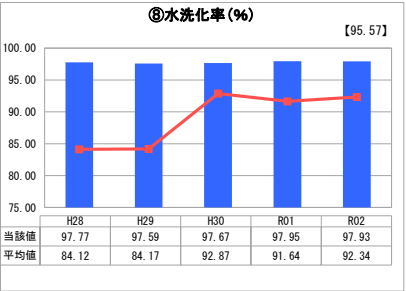
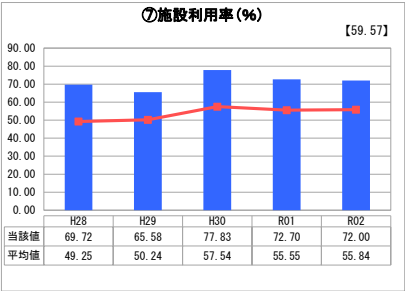
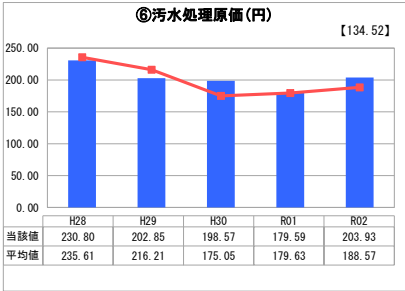
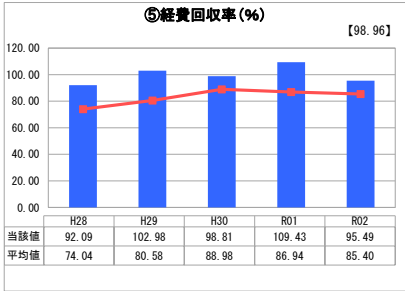
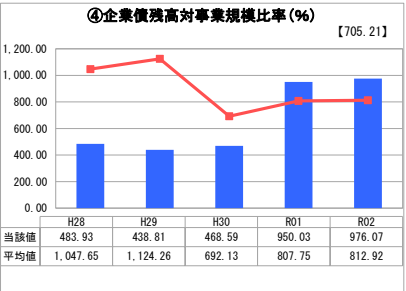
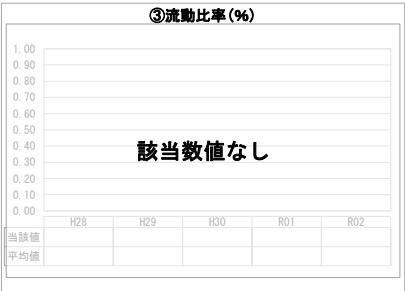
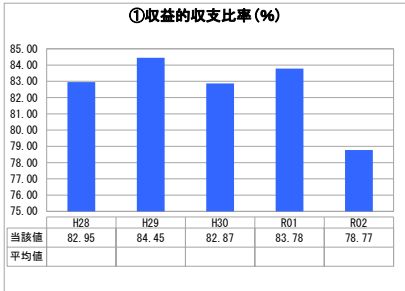
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	70.26	60.23	3,115

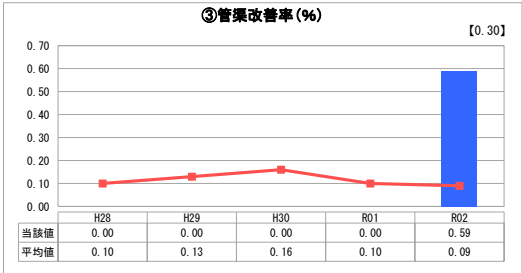
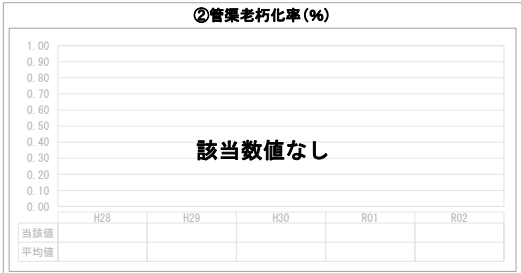
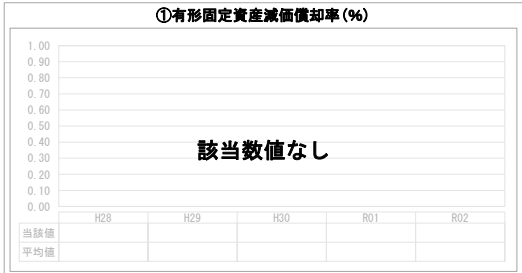
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,867	144.21	96.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,735	6.14	1,585.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、令和元年度では地方債償還金の減少に伴い数値が改善したが、令和2年度は、料金収入や繰入金が減少したことで数値が悪化した。

企業債残高対事業規模比率については、近年横ばいで推移していたが、令和元年度から数値が増加している。類似団体より高い水準である。適正な投資規模になるように使用料見直し等を検討し経営改善を図っていく必要がある。

経費回収率については、令和元年度は、汚水処理費の減少に伴い数値が改善した。類似団体と比較すると高い水準を維持しているが、今後もさらなる適正な維持管理に努める必要がある。

汚水処理原価については、近年、減少傾向である。類似団体と比較しても、同水準であり、今後もさらなる適正な維持管理に努めるとともに、接続率の向上に努める必要がある。

施設利用率については、近年、横ばいで推移している。類似団体と比較して高い水準であるが、人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。

水洗化率については、ほぼエリア全域に普及しているが、一部未接続があり、さらなる普及促進に努めていきたい。類似団体と比較して、高い水準の理由として、下水道事業への早期取組が要因と考えられる。

2. 老朽化の状況について

管渠の改善率については、近年、管渠修繕の実施がなかったが、令和2年度よりストックマネジメント計画の策定に取り組んでいる。今後は更新計画を基に管渠の更新に取り組んでいく。

全体総括

経営の健全化に向けて、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、適正な料金改定を進める必要がある。また、施設の老朽化に備え、処理場施設や管渠等の計画的な更新を進め、健全な事業運営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。